

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご理解とご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。

この度、2024年3月9日(土)に高知県高知市のCHRESにて第36回四国内視鏡外科研究会の開催をお世話させていただくことになりました。この歴史ある研究会の前身は香川県での内視鏡下手術に関する学術の進歩、知識と技術の普及、並びに施設の協力を図ることを目的に設立された香川県内視鏡下談話会で1993年(平成5年)7月に発足、開催されました。研究会のさらなる充実のため香川県に限定した組織でなく、内視鏡下手術に関心のある四国全域の研究機関、病院の先生方の参加した組織に拡大する必要性から、1995年(平成6年)12月に四国内視鏡外科研究会設立準備回が開催され四国内視鏡外科研究会が発足されたという貴重な歴史のもとに存在しています。現在、愛媛大学医学部消化管・腫瘍外科学講座を事務局におき、ますます充実した研究会へと発展しております。

研究会発足から30年の歴史の中で、内視鏡外科は飛躍的な進歩を遂げ、今なお、進化し続けようとしています。消化器、呼吸器分野をはじめ、あらゆる分野での鏡視下手術は先輩方の経験から、安全性も向上し、医工連携での数々のデバイスや鉗子類の進化を受けながら、普及してきました。そして、現在飛躍的な普及を遂げたのがロボット支援での手術です。

今回の研究会の主軸として、“内視鏡外科の行く先は”というテーマで議論できればと考えています。ロボット手術も多くなってきましたが、これまで進化してきた内視鏡外科の基本的な手技は貴重な経験と財産としてこれからの外科手技に生かさねばなりません。“これからの内視鏡外科”を考えていく内容で、演題を募集させていただければと考えています。一般演題も貴重な報告をたくさん募集させていただき勉強させていただきたいと考えています。

ランチョンセミナーには岡山大学呼吸器外科より岡崎幹生先生に来ていただき、ロボット手術を始め岡山大学の手術の現状やこれから我々が目指すべき方向などのついてご講演いただく予定です。

また、シンポジウムには四国4県からご指定させていただき、

呼吸器外科シンポジウム

「ロボット手術を導入して思うこと」

2018年より、日本で肺癌の肺葉切除のロボット手術が保健取載になって以来、多くの施設にロボットが導入され始め、2023年現在、施設ごとに様々な工夫がなされ、また、本年の呼吸器外科学会でも、さまざまな合併症が報告されてきました。このセッションでは、「ロボット手術を導入して思うこと」と題し、貴施設においてロボット手術を経験して明らかになってきた利点や欠点など、こだわっている方法(ポート位置、鉗子、ステープラー(fusion surgeryなど))、また経験した合併症などを自由な形式でご発表いただきたいと思います。また、社会的な内容(働き方改革への影響など)、症例報告などでも結構です。

これからの呼吸器外科手術や教育とロボット手術に関して、気兼ねなく議論できるセッションにしたいと考えます。

消化器外科シンポジウム

「横行結腸癌の手術」

横行結腸癌の手術は、結腸癌の中でも、施設により、その切除範囲や郭清の考え方が多岐にわたるのが現状です。横行結腸癌の手術の手順や、中結腸動脈の処理など、自由な形式で議論できればと考えています。

first touch から、剥離、郭清、血管処理のアプローチ法

(腸切除、吻合、腸管膜の閉鎖)

上記の手技を貴施設の症例を提示していただきながら、気兼ねなく、研究会でしか議論できない内容を話し合えるセッションにできればと思います。

上記内容で四国4県より各々の県の臨床で中心的な役割を果たしておられる新進気鋭の先生方にご依頼し、ご講演いただく予定であります。

さらに、本年度、イブニングセミナーにて、日本内視鏡外科学会 次世代育成事業 大上賞受賞者講演の企画より、藤田医科大学医学部 先端ロボット・内視鏡手術学講座 主任教授 宇山 一朗 先生にお越しいただくこととなりました。

このイブニングセミナーではロボット手術を中心としたご講演をしていただきながら、研究会でしかできない、実臨床での質問など、気兼ねなく意見交換ができる楽しい会を開催できればと準備しております。

上記、魅力ある研究会にできるよう準備しておりますので、各ご施設、お誘い合わせの上、高知にお越しくだされれば幸いです。

一般演題を今一度、募集させていただきます。2024年1月15日まで延長させていただきます。ぜひ、一般演題(どのような内容でも結構です)のご登録をお願いできれば幸いです。宜しくお願い致します。

謹白

2023年12月吉日

第36回四国内視鏡外科研究会

当番世話人 吉田光輝

(高知赤十字病院 呼吸器外科(第三外科)部長)